

城郭探訪

まちづくりと城の址

岸和田市 岸和田城

織田、豊臣、徳川の最前線 「大坂の南の守り、岸和田城」

岸和田市長(大阪府)

永野耕平

城とだんじりのまち、岸和田

関西国際空港に近く、「世界に一番近い城下町」がキャッチフレーズである岸和田市は、市制施行も大正11(1922)年と大阪府内では大阪市、堺市に次いで3番目と古く、日本最古の私鉄、南海本線が城の外

最前線の城

岸和田城は、戦国時代末期には現在の場所であり、紀州進出をもくろむ織田信長や羽柴秀吉と、対抗する根来寺や雑賀衆などの紀州勢との間に練り広げられた合戦の前線拠点でした。

天正13(1585)年、秀吉による紀州平定の後、秀吉の叔父、小出秀政が城主となり、城郭・城下町の整備に着手。慶長2(1597)年には、5層の天守が建てられたとされます。

重要拠点の証し「伏見櫓」

江戸時代初期、幕府は、廃城になった京都伏見城の櫓を戦略上重要な城に配置しており、岸和田城にも移築されました。これは、岸和田城の重要性が初期徳川政権にとって際立っていたことを示し、岸和田城は、徳川幕府の拠点となった大坂城の南側の守りとして、西側の備えである尼崎城と



「食い違い虎口」を疾走するだんじり

郭を通過する、大阪と和歌山を結ぶ要衝の地にあります。岸和田と言えば、城下町の狭い屈曲路地を駆け抜けるだんじり祭りが、実はこの屈曲も「食い違い虎口」と呼ばれる、城郭構造の名残なのです。



岸和田城と桜

ともに、地理的・軍事的重要性が高く、大坂が手薄になることを避けるため、岸和田藩と尼崎藩は参勤交代を交互とし、有事の際には、どちらかの藩がすぐに大坂城へ軍を動員できるようにしていました。



岸和田城庭園（八陣の庭）

寛永17（1640）年、岸和田へ入封した岡部宣勝は譜代大名でしたが、実母洞仙院は徳川家康の養妹であり、明治維新に至るまで、岡部氏13代が岸和田から移封・転封されることなく統治したのは、幕府の信頼に基づくものであったと考えられます。

歴史と伝統ある城を生かし、市民とつくるにぎわい

残念ながら岸和田城の天守は、文政10（1827）年に落雷で焼失。明治維新後の廃城令に伴い、城の櫓や門、土塀なども取り壊されました。戦後、城跡の活用について、当時の市長が昭和期の代表的な庭園研究家・作庭家、重森三玲氏に相談したところ、城跡を保存するため庭園を造る提案があ

歴史探訪コラム

城と都市の でんせつ

江口知秀
建設産業図書館 学芸員

り、昭和28（1953）年に、岸和田城庭園（八陣の庭）が完成。翌昭和29（1954）年には、市民の寄付を基に、3層の模擬天守が再建されました。岸和田城庭園（八陣の庭）は、芸術上の価値、近代日本庭園史における学術上の価値が高く、平成26（2014）年、国の名勝に指定され、岸和田城も、平成29（2017）年、石垣と堀が築城時の姿をほぼ残しており往時をしのべるとの評価で、続日本100名城に選定されました。桜の季節には、毎年、お城まつりを開催。たくさんの方にお城と満開の桜

蛸地蔵

大阪湾を面前に臨む岸和田城。その湾と城の中間に蛸地蔵天性寺は位置し、この地蔵尊には、タコが岸和田城を守ったという伝説がある。

さて、建武年間（1334～1338）に起こった大津波の折、岸和田は海辺にもかかわらず、人家に被害がなかったため、当時の城主が不思議に思いつて海岸を見ると、タコの背に乗った地蔵菩薩を発見した。これを守り本尊として城内に祀ったが、戦乱の世のため城濠に隠した。

それから、2000年以上後の天正年間（1573～1592）、松浦肥前守が城主の折、宿敵の紀州根来勢が岸和田城に攻め寄せた。その時、白法師と無数のタコが現れ、敵軍を退却させたという。

をお楽しみいただいています。天守閣で挙式できる「岸和田城ウェディング」も実施しており、一国一城の主になる気分を味わうことができます。令和6（2024）年は、天守閣再建70周年を迎え、古希をお祝いする記念イベントも開催予定であり、市民に愛されてきた城を未来へ引き継ぎ、これからも守っていくため、5年後の再建70周年を目指し、岸和田城リニューアルプロジェクトと題し、クラウドファンディングも実施中ですので、ぜひご協力をお願いいたします。

その後、夢告があり、濠から例の地蔵菩薩が引き上げられ、文禄年間（1592～1596）に天性寺へ移したと伝わる。

なお、天性寺の住職はタコを食べてはならないし、祈願者も1年ないし3年の間は慎まなければならないという。また、昭和6年刊の『岸和田志』によれば、岸和田付近で取れるイイダコには、両頬に金色の鮮明な小環紋があり、この海域にしか見られず、城を守ったタコの末裔とされる。こうした特徴と海に近い立地から、蛸地蔵の伝説が生まれたのかもしれない。

余談だが、温暖化が進むとタコが失明する恐れがあるらしい。豪アデレード大学の最近の研究結果なのだが、卵の時に水温が25℃になると視力に関するタンパク質が生成されなくなるのだとか。近い将来にはタコの援軍も期待できなくなるかもしれない。